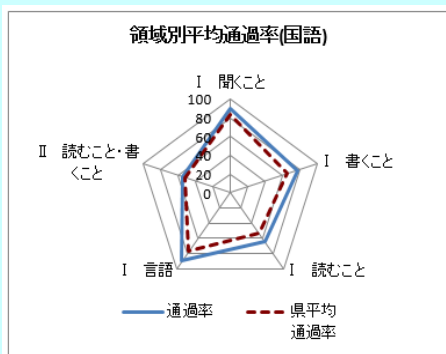


# 指導方法等の改善計画について〔国語科〕

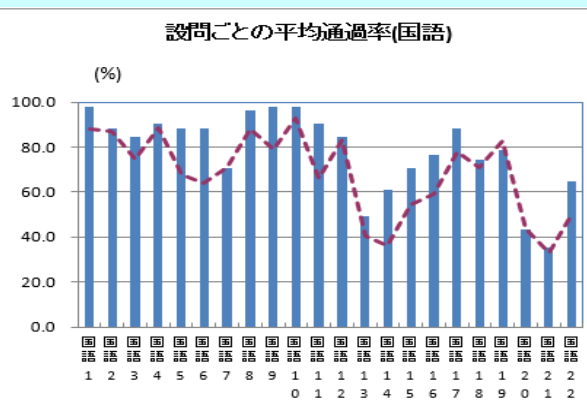
熊野町立熊野第三小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 78.0%, 県 68.0%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向(タイプⅠ,Ⅱの状況,よい領域はどこか)について  
 国語の結果において,タイプⅠは83.0%,タイプⅡは55.4%の通過率となっている。県平均と比較して低かったのは,「書くこと・読むこと」55.4%(県平均52.4%),「読むこと」64.7%(県平均53.1%)である。「聞くこと」は90.2%「言語」が90.0%と,ほぼ定着していると言える。

○昨年度の課題への取組の成果(あるいは課題)  
 昨年度は,「読むこと」(46.5%)について課題が見られた。特に,目的に応じて文章を要約する力に課題が見られた。そこで,文章の大事な言葉に着目して読み,要点をまとめる指導を繰り返した。この指導改善により,「読むこと」64.7%と伸びが見られた。今後も継続してこの指導に取り組み,物語文,説明文など,どのような文章においても,目的に応じて文章を要約する力を確実に身に付けさせたい。

## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

【課題1】  
 ◎文章の要点を捉えることや,必要な情報を正しく選択する力に課題がある。資料の内容を適切に読み取ったり,必要な文章がどこにあたるのか見当を付けたりすることができない児童が64.7%である。(設問五の3 通過率35.3%)

【課題2】  
 ◎文と文のつながりを考え,文章を正しく読み取る力に課題がある。目的に応じて,中心となる語や文を捉え,それらを関連付けて自分なりにまとめることができない児童が51%いる。(設問三の5 通過率49%)

◇条件に合わせて30~60文字で説明文を書く力に課題がある。  
 (国語B 設問2-3 通過率34.2%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】  
 ◎本や新聞,グラフなどの多様な資料や文章の中から,自分が必要とする情報がどこにあるかを選択し,記述する活動を取り入れる。また,それぞれの情報が,何を表しているのか,何について書かれているのかを読み取る活動を積極的に行う。

【課題2】  
 ◎文章全体を大きく読み取る活動を行い,文と文のつながりを考え,要旨をつかませる。また,目的や,与えられた条件に沿って,適切に文章を抜き出す学習を取り入れる。  
 ◇条件に合わせて,構成メモを作り,メモを基に書いていく指導を継続的に行う。国語科の授業だけでなく,活用タイムで,具体的な指導をしていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生単元末テスト	5年生実力テスト	熊野町標準学力調査	4年生H29「基礎・基本」テスト	4・5年生実力テスト
目標値	60%	65%	70%	75%	70%	65%	70%/80%
実施後数値							

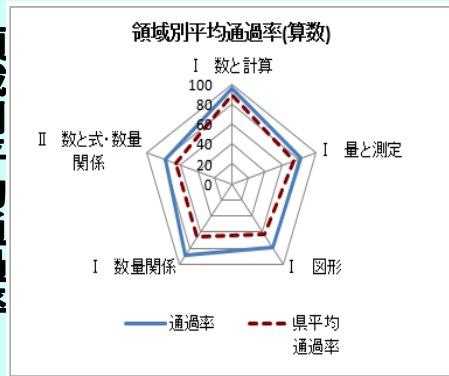
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生単元末テスト	5年生実力テスト	熊野町標準学力調査	4年生H29「基礎・基本」テスト	4・5年生実力テスト
目標値	60%	65%	70%	75%	70%	65%	70%/80%
実施後数値							

# 指導方法等の改善計画について [算数科]

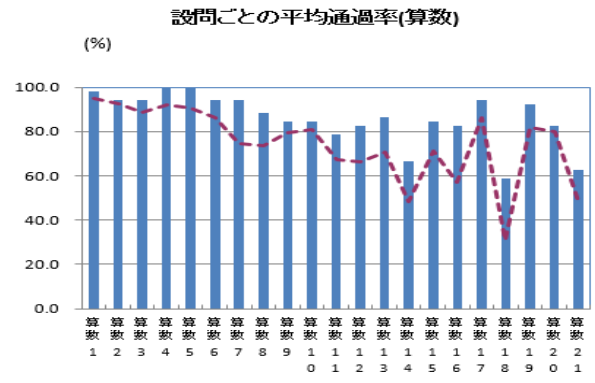
熊野町立熊野第三小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 85.8%, 県 74.3%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

○全体的な傾向(タイプI, IIの状況, よい領域はどこか)について  
算数科の結果において, タイプIは88.2%, タイプIIは78.0%の通過率となっている。全体的に見て通過率が低かったのは, 「数と式・数量関係」78.0%(県平均65.4%), 「図形」79.1%(県平均63.4%)である。「数と計算」は95.5%「数量関係」が88.2%と, ほぼ定着していると言える。

○昨年度の課題への取組の成果(あるいは課題)  
昨年度は「数量関係」の, 目的に応じて四捨五入, 切り上げ, 切り捨てを選択し活用する力に課題が見られた。(通過率18.4%)。そこで, 生活の中で概数を使う買い物場面を取り上げ, 概数の多様な使い方を経験させた。この結果, 本年度は概数の通過率が94.1%となり, 十分定着したと言える。また, ある時刻から一定時間前の時刻を求める問題の通過率が, 昨年度は34.2%であったが, 授業において, 模型時計を操作させたり数直線を用いて考えさせる活動を行ったことにより, 本年度は84.3%の通過率となった。

### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- 【課題1】  
◎グラフを読み取る力や, 2つのグラフを比較し, 伴って変わる数量の変化を捉える力に課題がある。平成23年から平成28年の数の変化を読み取る必要があるにもかかわらず, 平成28年の数のみを読み取っている児童が多かった。  
(設問10- (2) 通過率58.8%)。
- 【課題2】  
◎図から数量を読み取り, 規則性を基にして立式する力, 考えを組み立てて説明する力に課題がある。星の数を求めるための立式はできていても, 途中の計算を間違えている児童が9.8%いた。また, 立式をし, 正しく計算することができているが, 最後に, 100個並べても星の数が足りることに触れていない児童が3.9%いた。  
(設問11- (3) 通過率62.7%)  
◇超過部分を活用して平均を求める方法を言葉や式で説明する力に課題がある。  
(B 設問3- (2) 通過率 15.8%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】  
◎ポイントになる数字に印を付けるなどして, 数字を正しく読み取らせるようにする。また, 目盛りを正しく把握するために, 1目盛りがいくつになるかを確認する作業を, 毎回必ず取り入れる。さらに, 算数科だけでなく, 他教科においても, 日常的にグラフの読み取りに関する学習を積極的に行うようにする。
- 【課題2】  
◎ $3+9 \times 10$ のような加法と乗法の混じった計算について, 具体的な場面を設定し, 実際に操作しながら答えを導く学習を行うようにする。説明する力については, 算数科に限らず, 他教科においても論理的に説明することが必要な問題を多く設定し, 最後の結論である, 「したがって」「だから」というところまで書き切ることができるように, 繰り返し指導を行うようにする。
- ◇本校の研究では, 自分のノートに考えを表現していくことを課題に取り組みを行っている。授業の中で, 思考させる場面を精選し, 日常的にノートに自分の考えを書く指導を行っていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生実力テスト	熊野町標準学力調査	4年生H29 「基礎・基本」テスト	4・5年生実力テスト
目標値	70%	75%	80%	80%	80%	65%	70%/85%
実施後数値							

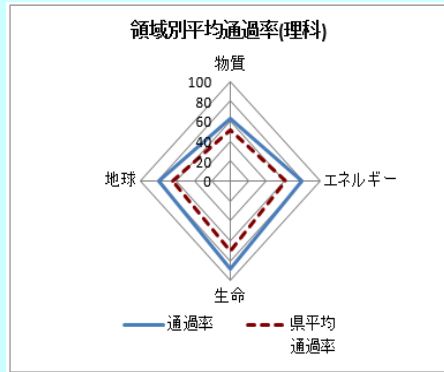
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生実力テスト	熊野町標準学力調査	4年生H29 「基礎・基本」テスト	4・5年生実力テスト
目標値	70%	75%	80%	80%	80%	65%	70%/85%
実施後数値							

# 指導方法等の改善計画について [理科]

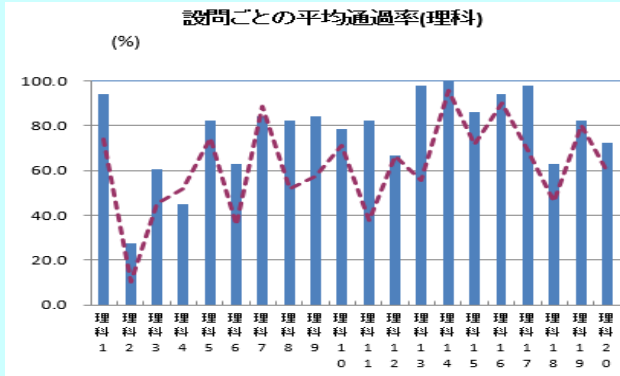
熊野町立熊野第三小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 77.3%, 県 61.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



## 本年度の結果について

○全体的な傾向(タイプI, IIの状況, よい領域はどこか)について  
 理科の結果において, タイプIは88.2%, タイプIIは78.0%の通過率となっている。通過率が低かったのは, 「物質」のタイプIIで, 44.4% (県平均35.8%), 「地球」のタイプIIで, 67.6% (県平均52.9%) である。「生命」のタイプIは93.6%, 「地球」のタイプIが90.2%と, ほぼ定着していると言える。

○昨年度の課題への取組の成果(あるいは課題)  
 昨年度はと「地球」(15.8%)と「エネルギー」(28.9%)に課題が見られた。そこで, 授業において, 児童の興味関心が高まるような課題を提示したり, 苦手な児童に対しては再度実験を行ったりした結果, 本年度は「地球」の通過率が78.9%, 「エネルギー」の通過率が78.4%と, 理解が高まったことが分かる結果となった。

## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

【課題1】  
 ◎空気でつぼうの筒の中の空気が押し棒によって押し縮められ, 元に戻ろうと押し返す力によって前玉が飛ぶという内容を証明する実験を選び, 理由を説明する力に課題が見られた。正しい実験方法を選択できない児童が72.5%である。  
 (設問1-(2) 通過率27.5%)

【課題2】  
 ◎記述している内容から, 実際の実験で塗ったろうがどうなっていくのかをイメージする力や, 問題の内容や意味を読み取る力に課題がある。水や空気の温まり方と金属の温まり方が異なることを理解していない児童が54.9%である。  
 (設問2-(2) 通過率45.1%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】  
 ◎実験結果を分析して, なぜそのような結果が出たかを論理的に証明する力を身に付けるために, 実験結果を再度, 別の角度から確かめることができる類題を用意するようにする。また, まとめの時間には, もっと調べたいことに取り組みせたり, 発展問題に挑戦させたりするなど, 学びを深めるための時間を設けるようにする。

【課題2】  
 ◎金属の温まり方を確認するために, 実際の実験を行い, 熱した部分を中心に, 外へ外へと熱が伝わっていくことが理解できるようにする。同時に, 水や空気の温まり方は, 対流により下から上へと温まっていくことを確認する場を設定する。また, 問題文の意味を正しく捉えるため, 問題文を3回読むなど, 読み取る力も付けていく必要がある。

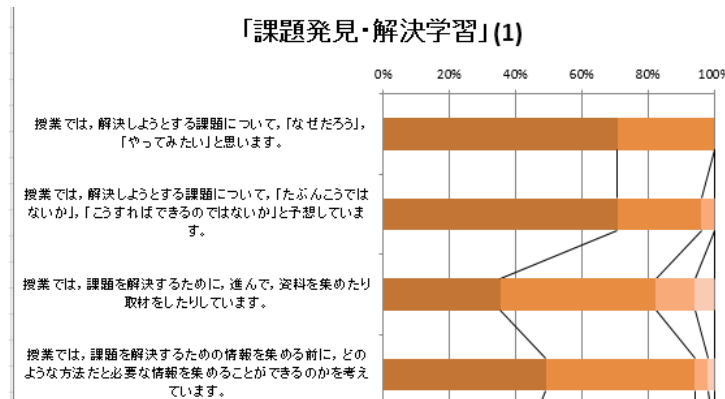
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生単元末テスト	5年生実力テスト	熊野町標準学力調査	4年生H29「基礎・基本」テスト	4・5年生実力テスト
目標値	60%	65%	70%	75%	70%	65%	70%/80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生小テスト	5年生小テスト	5年生単元末テスト	5年生実力テスト	熊野町標準学力調査	4年生H29「基礎・基本」テスト	4・5年生実力テスト
目標値	60%	65%	70%	75%	70%	65%	70%/80%
実施後数値							



質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

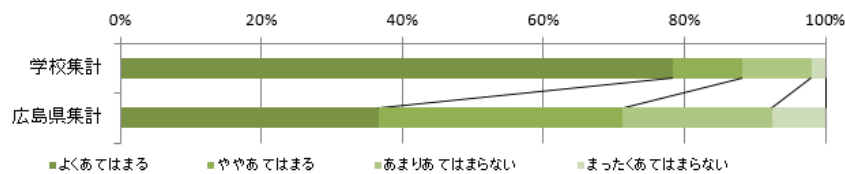
(1) 生活・学習



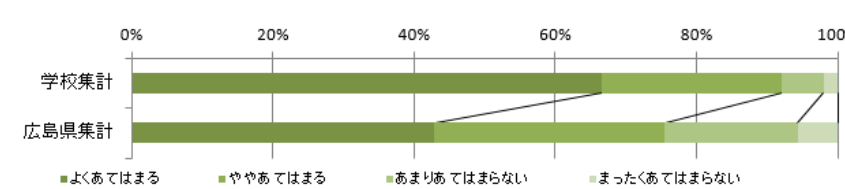
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
◎授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしようとする意欲に課題がある。 (肯定的評価82.4%)	◎児童が必然性をもって、情報を収集することができるような場面設定を行う。	5・6年	90%	児童アンケート	12月		
◇友だちの前で自分の考えや意見を発表することに課題がある。 (肯定的評価39.5%)	◇毎朝、日直にその日の新聞を活用してスピーチするなど、発表の場を多く設定する。		80%				

(2) 教科

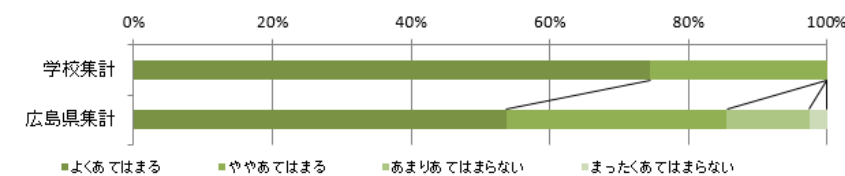
国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表して考えています。



理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	◎国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりすることに課題がある。 (肯定的評価88.2%)	◎課題提示において、生活の中から課題を立てさせたり、振り返りにおいて本時の学習内容と生活への活用を考えたりする指導を取り入れる。	5・6年	90%	児童アンケート	12月		
	◇国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書くことに課題がある。 (肯定的評価55.3%)	◇登場人物の気持ちの変化や説明文から分かることなど、そう考えた根拠をノートに書かせる指導を行う。また発表させる際には、必ず理由まで発言させるようにする。						
算数	◎算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表して考えることに課題がある。 (肯定的評価92.2%)	◎自力解決の時間を十分に確保し、既習事項を用いて、思考を可視化する指導を繰り返し行う。	5・6年	96%	児童アンケート	12月		
	◇算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えることに課題がある。 (肯定的評価65.8%)	◇単元を貫いた学習課題の設定や、振り返りの充実を引き続き行っていく。						
理科	◎観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学習している意識に課題がある。 (肯定的評価90.2%)	◎観察や実験を行う際に、多様なまとめ方を提示し、自分にあった方法を選べるようにする。	5年	96%	児童アンケート	12月		